

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	参加のデザイン	担当教員	鶴田佳子		
学年学科	5年 建築学科	後期	選択	1単位	
学習・教育目標	(D-3・創生) 100%		JABEE 基準 1 (1) : (d)		
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 建築計画やまちづくりにおいて、重要度を増している協働型（住民参加・利用者参加）の計画手法について、実践的に理解を深める。具体的にはワークショップの企画・運営に必要なスキルに関する講義と演習を通じ、参加協働の意味および計画のプロセス・技法を習得することとし、以下の項目を目標とする。 ① 参加協働の意味および参加のデザインの理解 ② 参加のデザインとして、プロセスデザイン、参加形態のデザイン、プログラムデザインを行うことができる。		<b>成績評価の方法：</b> 期末試験 50 点+課題提出 50 点（事例紹介 20 点+プログラム作成 30 点）とし、総得点 100 点によって成績評価を行う。 <b>達成度評価の基準：</b> 試験及び課題で 6 割以上の正答レベルまで達していること。成績評価への重みは①50%、②50%とする。 ① 参加協働および参加のデザインに関する問題をほぼ正確（6 割以上）に解くことができる。 ② 実際のワークショップ事例を参照し、模擬ワークショップのプロセスデザイン、参加形態のデザイン、プログラムデザインをほぼ適切（6 割以上）に行うことができる。			
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 実践的な住民参加・利用者参加のスキルを修得するために、ワークショップ企画・運営に必要な技術について講義と演習をセットとした授業展開とする。					
教科書および参考書：適宜プリントを配布する。					
<b>授業の概要と予定：前期</b>					<b>AL のレベル</b>
第 1 回：参加のデザインとは					
第 2 回：ワークショップ事例紹介					
第 3 回：ワークショップ事例紹介					
第 4 回：ワークショップ事例調べ					C
第 5 回：ワークショップ事例紹介(学生)					B
第 6 回：ブレインストーミング 講義と演習					B
第 7 回：ロールプレイ 講義と演習					B
第 8 回：ファシリテーショングラフィックス 講義と演習					B
第 9 回：フィールドワーク（タウンウォッチング等）講義と演習					B
第 10 回： " 演習（とりまとめ）					C
第 11 回：予算配分ゲーム 講義と演習					B
第 12 回：KJ 法 講義と演習					B
第 13 回：ワークショッププログラム作成					B
第 14 回： "					B
<b>期末試験</b>					
第 15 回：ワークショッププログラムの講評					

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	参加協働、参加のデザインに関する問題を正確に（8割以上）解くことができる。	参加協働、参加のデザインに関する問題を正確に（6割以上）解くことができる。	参加協働、参加のデザインに関する問題を解くことができない。
②	模擬ワークショップのプロセスデザイン、参加形態のデザイン、プログラムデザインをほぼ適切（8割以上）に行うことができる。	模擬ワークショップのプロセスデザイン、参加形態のデザイン、プログラムデザインをほぼ適切（6割以上）に行うことができる。	模擬ワークショップのプロセスデザイン、参加形態のデザイン、プログラムデザインができない。